



**あおぞら診療所 在宅医療連携拠点事業  
医科歯科連携好事例集**

# 医科歯科連携が進んでいない現状

- 医科歯科連携の重要性が叫ばれているものの十分に医科と歯科の連携が進んでいるとはいえない現状がある
- 在宅患者の健康やケアマネジメントを担当している在宅医や訪問看護師、ケアマネジャーは歯科が専門ではなく、担当している患者の口腔ケアニーズに気づいていない
- そもそも依頼がなければ歯科がその力を発揮することはできない

# 歯科衛生士による医科歯科連携促進

- 連携拠点が**歯科衛生士**を確保して医師の**訪問診療**に**同行**してもらう
- 歯科衛生士は患者の**口腔アセスメント**を的確に行い、**歯科介入が必要な患者**を抽出する
- 患者からの**歯科診療の依頼**を受けて、医師から**歯科医師**へ**診療情報提供**を行い、**訪問歯科診療**が**開始**となる

# 医科歯科連携報告

訪問診療が臨床に及ぼした効果

# 症例1 TKさん 女性 76歳 要介護5

- 1, 平成23年6月
- 2, アルツハイマー型認知症
- 2, 残存歯24本(う蝕5本), 口腔清掃不良のためプラークおよび歯石多量付着, 歯肉の炎症による発赤・腫脹・出血, 強度口臭, 時々流涎あり, 口腔内を触ると緊張し頬・口唇などに力が入る
- 3, 体幹が左に傾いており, 時に強くなる, 頸部は前屈  
食事中のムセや食事以外にも唾液によるムセがときどきみられる  
発熱時々あり(介入直前も37.9°Cの発熱有)  
食事量が減っている(H23.6のalb3.4)

# 症例1 TKさんの介入後

- 1, 歯石除去, 歯面研磨, ブラシによる清掃, 口腔内の清拭, う蝕の処置(充填)  
口腔内外および頸部マッサージ
- 2, プラークの付着が減少したことにより歯肉の炎症が減少, 口臭は減少しほぼ感じられない程度となる  
スタッフの介助磨きが行いやすくなった  
口腔内に触れても強い緊張は見られなくなった
- 3, 体幹の傾斜が以前より見られなくなったとのこと  
食事量が増えた  
単語での返答が可能な時がある

# 症例2 KKさん 女性69歳 要介護4

- 1, 平成23年7月
- 2, 右腎平滑筋肉腫術後再発 肺肝骨転移, 甲状腺機能低下症  
残存歯28本, 初期のう蝕あり, 歯肉の軽度炎症, プラーク多量付着, 口唇乾燥, 左右口角炎
- 3, 身体がだるく, 口腔清掃はしばらくおこなっていない, ほとんど一日ベッドで過ごす, 食欲あり

## 症例2 KKさん 介入後

- 1, 口腔清掃, 歯面研磨, 口腔周囲マッサージ
- 2, 口腔内の爽快感
- 3, 最後まで食事をとることができた



# 症例3 TNさん 男性71歳 要介護5

1, 平成23年7月

2, 多発性脳梗塞, 高血圧, 胃潰瘍

残存歯24本, う蝕17本(内残根16本)

口腔清掃不良のためプラーク多量付着

歯肉の炎症による発赤・腫脹・出血

強度口臭

流涎

歯軋り

# 症例3 TNさん介入後

- 1, 平成23年7月
- 2, 16本の残根は大学病院で抜歯を行った。局所麻酔下で上下2回で抜歯し、問題なし。  
同9月歯肉の状態が落ち着いて、マウスピースを作成。

夜間装着し歯ぎしりが治まる

口腔内の過敏は以前より軽度となる

流涎なし

# 症例4 SMさん 女性89歳 要介護5

- 1, 平成23年9月
- 2, 認知症
- 3, 義歯不適合, 残存歯16本, う蝕2本, 口腔清掃不良のためプラーク付着, 歯肉の炎症による発赤・腫脹・出血, 口臭
- 4, 発語あり, 会話は成り立たず, 昔の話を話したりしている。家族の対応には大声で外に叫んだりする  
尿便失禁

# 症例4 SMさん 介入後

- 1, 上顎総義歯の内面を適合させる, う蝕処置  
残存歯の歯石除去・研磨・清掃,  
家族・ヘルパーへ清掃法・義歯の取り扱い・出し入れの方法を指導
- 2, 上顎総義歯が適合し, 問題なく食事・会話などが可能になる  
口腔内の清掃状態が良好となる
- 3, その場での**会話が可能**となる, 相手を気遣うような言葉が出るようになる  
家族より「**穏やかになった**」とのこと
- 4, **尿便失禁がみられなくなった**

# 症例5 OHさん 男性79歳 要介護5

- 1, 平成23年5月
- 2, 筋萎縮性側索硬化症
- 3, 残存歯16本, 口腔清掃不良によりプラーク付着, 軽度歯肉炎症, 軽度口臭, 舌背2/3以上舌苔付着, 重度乾燥
- 4, 朝1食の経管栄養(胃瘻), 昼夜2回の経口摂取を継続しているがむせがみられるようになってきた

# 症例5 OHさん 介入後

- 1, 口腔清掃, 介護者(妻)への指導  
口腔内外, 頸部, 嚥下関与筋マッサージと運動
- 2, プラークの減少  
炎症はみられなくなった  
舌苔の減少, 乾燥には保湿剤にて対応
- 3, むせなく昼夜の経口摂取を継続中